

不登校「なんとかなるよ」

NPO「越谷らるご」記念誌発行

フリースクール15年

OBがメッセージを発信



記念誌を出版した「りんごの木」の生徒とスタッフ（左が増田理事長）

越谷市千間台西でフリースクールを運営する特定非営利活動（NPO）法人越谷らるごは「りんごの木15年記念誌」を発行した。学校に行けない

子供たちの居場所を1990年に開設。後のフリースクールの足がかりとなる活動を振り返るとともに、卒業生がメッセージを添え、変わり行く教室に合わない、いじめに

育界の現状がつけられてい。卒業生は「なんとかなるよ」という強いメッセージを発信している。学校に合わない、いじめに

あった先生と合わない、などさまざまな理由で学校に行かなくなった子供たち。当時の小学生もすでに20歳を超え、大学生になったり、就職したりと忙しい日々を過ごしている。

記念誌は1年前にOBたちで編集委員会を作り、準備を進めた。記念イベントも一昨年に開催し、シンポジウムなどをもち、現在のフリースク

ールの問題とこれからのついて参加者らで話し合った。これらを記録し掲載している。

越谷らるごの増田良枝理事長は「少しずつですが、フリースクールは社会に受け入れられてきました。りんごの木で育った子供たちは、試行錯誤をしながらも『学校』に行っている子供たちと同じように生きて悩みや苦しみ、また楽しい体験をしながら進学や就職など、その人のペースでそれぞれの道を歩んでいます。記念誌は日本の社会へのメッセージ集になりました」と話していた。

記念誌はB5版本文175ページ。1000部制作。希望者には無料（送料は負担）で配布する。お問い合わせは越谷らるご 0970・8888